

科目名・単位数	簿記原理 2単位	科目分類	財務会計系	基本科目
配当年次	1年次・春学期・昼	担当教員	あべ ひでとし	
履修形態	選択必修		安部 秀俊	
授業概要	<p>目的：中級レベルの簿記処理の理解</p> <p>複式簿記の基礎的理解を前提に、日本における経済社会の中心的役割を担っている株式会社を対象とした会計処理を学習する。</p> <p>一般的に、簿記は学習項目のレベルにより初級、中級、上級に分けられることが多いが、本講義では、株式会社の基本的取引を内容とする中級レベルの簿記処理を体系的に理解することを目標に解説および問題演習を行う。</p>			
到達目標	中級レベルの簿記処理の理解および実際に仕訳処理等が行えるようになること。			
授業方法	オンライン授業（オンデマンド型）を行う。授業においては講義が中心となるが毎回の課題とフィードバック，メール等による質疑応答を通じて，双方向性を確保する。教室での対面授業の開始後，通常通り講義及び問題演習を行う。			
事前・事後学習	事前学習として毎回講義範囲のテキストを事前に読み、不安がある項目については学習しておくこと。事後学習については、復習として問題演習を再度行う。なお、事前・事後それぞれについて学習時間の目安は90分～120分である。			
成績評価の方法	講義への取り組みで40%、期末考査60%の割合で評価する。期末考査については授業内試験とする。			
フィードバックの方法	テストの解説は授業内で時間を設けて行う			
履修上の注意	初級程度の簿記知識があること。			
授 業 計 画				
第1回	<u>簿記一巡の手続きと財務諸表、現金預金取引</u> 企業に生じた経済事象を認識・測定・記録し、利害関係者に伝達するための簿記一巡の手続きについて確認するとともに、財務諸表について解説を行う。現金預金取引について解説を行う。			
第2回	<u>債権債務取引、手形取引</u> 企業活動に伴って生じる債権債務取引について検討を行う。信用取引において利用される手形について、その種類、取得・譲渡・不渡り時の会計処理の解説および問題演習を行う。			
第3回	<u>有価証券取引</u> 企業資金の運用形態の一つである有価証券について、その分類、取得・売却の会計処理、期末時点における会計処理、財務諸表における表示について問題演習および解説を行う。			

第4回	<u>商品売買取引</u> 商品売買取引の会計処理法である三分割法等について解説および問題演習を行う。また、取得した商品の期末時点での会計処理についても解説および問題演習を行う。
第5回	<u>固定資産</u> 企業が長期にわたり営業目的で使用する形のある資産を有形固定資産という。この有形固定資産の取得・売却・除却時の会計処理および期末時点での会計処理について解説、問題演習を行う。
第6回	<u>引当金</u> 企業活動には様々な事象が生じるが、その中には支出を伴わずに支出の原因事実だけが生じるような事象がある。期間損益計算の適正化の観点から計上される引当金について解説、問題演習を行う。
第7回	<u>資金調達の会計処理（株式の発行）、剰余金の会計処理、合併の会計処理</u> 企業の資金調達には種々の方法があるが、ここでは、企業組織の人的・物的拡大を伴う株式発行による資金調達の会計処理を解説、問題演習を行う。
第8回	<u>リース会計（基礎）</u> リース取引の意義、分類を確認するとともに、ファイナンス・リース、オペレーティングリースの借手側の会計処理を解説、問題演習を行う。
第9回	<u>外貨建取引（基礎）</u> 外貨建取引の意義を確認するとともに、外貨建営業取引の記帳方法、決算および決済取引の会計処理、為替予約の会計処理を解説し、問題演習を行う。
第10回	<u>税効果会計（基礎）</u> 税効果会計の意義を確認する。引当金、減価償却、その他有価証券評価差額金の税効果会計の会計処理を解説し、問題演習を行う。
第11回	<u>決算の会計処理</u> 決算時の会計処理について、その必要性・一連の流れおよび勘定記入を解説する。また、精算表や貸借対照表、損益計算書についても作成方法を確認し、あわせて問題演習を行う。
第12回	<u>本支店会計</u> 本支店会計のうち本支店間取引、未達事項の整理および各店の決算整理までの会計処理と本支店合併財務諸表の作成手続きについて解説および問題演習を行う。
第13回	<u>連結会計（基礎）①</u> 連結財務諸表の意義、一般原則について確認する。資本連結について解説および問題演習を行う。
第14回	<u>連結会計（基礎）②</u> 連結会社間取引、未実現利益の消去について解説および問題演習を行う。連結精算表、連結財務諸表の作成について学習する。
第15回	<u>問題演習</u> 14回にわたって学習してきた内容について問題演習を行う。
テキスト	渡部裕互他編著『検定簿記講義／2級商業簿記』、『検定簿記ワークブック／2級商業簿記』、中央経済社※必ず最新版を用意すること
参考図書	授業内で指示する。